

# 平成26年度第2回普賢寺小学校コミュニティ・スクール推進委員会 会議録

## 1 開会

## 2 公開に係る説明

### 【事務局から説明】

## 3 議事

### (1) 先進校視察に関する研修

#### 【事務局から説明】

#### 【主な意見等】

委員 (視察した中で) スクールバスを運行している学校はあったか。

事務局 なかった。

委員 特認校制度を導入している学校は。

事務局 習志野市の秋津小学校は導入している。

委員 同市を視察先とした理由は。規模などが似ているのか。

事務局 習志野市と本市は災害協定を締結している。

人口は習志野市の方が倍ほどになるが、古い街と新しい街が混在していたり、大学があったり、大都市近郊地であったりと立地条件が似ているため、学ぶところはある。

委員 秋津小学校の学校運営協議会は部会(システム)に分かれて多様な活動をしているようだが、情報共有・発信はどうしているのだろうか。

委員 以前から「ふるさと体験学習」に取り組んでいる普賢寺小学校が一番の先進校だと感じた。

委員 学校運営協議会という組織を設置し、その中で役割分担をして体験学習などを充実していこうというのが本推進委員会の議論となる。

委員 地域・学校によって学校運営協議会の組織や委員選出方法に違いがある。

委員 学校運営協議会に求められる機能には、大きく「話し合う機能」と「ボランティアの機能」の二つがあるように思う。  
前者は学校評議員、後者はふるさと体験学習推進委員会が現在その役割を担っているが、この二つの機能を組み合わせるのが学校運営協議会、コミュニティ・スクールの形ではないか。

## (2) 特色ある教育課程の検討

### 【事務局から説明】

### 【3つのグループに分かれて討議】

### 【各グループの討議内容の発表】

- ハンドボールなどのクラブ活動をもっと活発にすればどうか。
- 小学校を地域の趣味やクラブ活動の場にして親同士の交流を深めたり、子どもと一緒に活動できたりすれば良いのでは。
- 子ども達に普賢寺地域の歴史的なことを教えていきたい。例えば、竹送りの行事に地元の子どもが参加していないので、授業で由来を教えるとか。
- 天王の祇園祭についても勉強して地元で愛着を持ってもらいたい。
- 地域の祭には積極的に参加してほしい。
- 小学校の「普賢寺地域探検」に保護者が参加しても良い。
- (保護者も参加する)「雲上大遠足」の中で色々なメニューを考えていけばどうか。
- 幼稚園との連携が大事。普賢寺幼稚園の夏祭りで地元コーナーがあって野菜などを販売しており、良い取り組みだと感じた。
- 小学校のグラウンドで地域・保護者・子どもと一緒にできるイベントができれば。
- 夏休みにキャンプファイヤーみたいなことをして交流ができれば、それも一つの取り組み。
- 現在でも色々なことに取り組んでいるので、それを末永く続けていくことが大事だ。
- 地域で使えるバスがあれば小学校に足を運びやすくなるのでは。
- 放課後に地域の大人が勉強や昔の遊びを教えることはできないか。

- 子どもが大人に教わる機会が減っているので、地域のお年寄りや職人に教わる機会を設ければどうか。
- 普賢寺小学校では従来から多くの取り組みがされているが、いかに引き継いで改善していくか。振り返りながら発展させる仕組みを念頭に入れて考えればコミュニティ・スクールに繋がっていくのではないか。
- 大学でも普賢寺は伝統ある地域として知られているので、(従来の取り組みを)次世代に引き継ぎ、地域の精神となってほしいと思う。

### (3) その他

**【事務局から次回の開催日程等を連絡】**